



● すべり推定に使用したひずみ観測点(多成分ひずみ計)

● ひずみ観測点(多成分ひずみ計)

□ ひずみ観測点(体積ひずみ計)

※ すべり候補領域は、中村・竹中(2004)¹⁾によるグリッドサーチの手法※により求めた。プレート境界と断面の形状はHirose et al.(2008)²⁾による。

※ すべり候補領域の位置とその規模(Mw)を、すべりがプレート境界面上でプレートの沈み込み方向と反対に発生したと仮定し、考え得る全ての解を前提として得られる理論値と観測値を比較し、合致するものを抽出する手法

1) 中村浩二・竹中潤、東海地方のプレート間すべり推定ツールの開発、地震時報、68、25-35、2004

2) Hirose F., J. Nakajima, A. Hasegawa, Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274, 2008

図5 ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定